



ひろの ふうお 廣野 房男 議員

問 駅西側からホームへ上れる様に

答 引き続き要望はしていく



幸田駅西側から地下道に入る利用者

問 駅ビルを含めた幸田駅の橋上化は実現させる方向に変わらないか。

答 **【企画部長】** 将来的には橋上化、自由通路化は、時間はかかるが目指していく。

問 利用者の多くは、まず西側からホームに入れる事を熱望している。簡易的でもいいので、階段やエスカレータを設置出来ないか。

答 鉄道系のICT化の進

展などを見据え、JR東海に引き続き要望はしていく。

問 町のリードで耕作放棄地解消を

答 よみがえる方法を考えていく

元々優良な水田や畑が、何も作付けされず放置されている。とても寂しい限りである。農地としての復活

と、その他有効な利用方法がないかを問う。

問 町の耕作放棄地は、農地の何%か、面積ではどの位あるか。

答 **【環境経済部長】** 農用地1090ha、耕作放棄地9・3haで、0・85%。

問 耕作放棄地を復活させた事例はあるか。

答 新規就農者の中で9筆3492㎡の貸借がまとまるなど、今年度は、17筆7591㎡が営農再開ができた。

問 貸農園を造った事例があるが、利用率と、今後増やすつもりは。

答 ふれあい農園は、91・2%。就農支援研修農園は、33・3%である。増やすつもりはない。

問 都市計画マスタープランに載っていない地域でも、企業進出、医療機関商業施設といった開発は出来るか。

答 都市計画法や農地法などの法令の手続が必要となる。

問 個々の事例や状況により大きく判断が異なる。農業を衰退させてはい

けない。町がリーダーシップを取って取り組みを。

答 **【町長】** 農業に対する人材育成、民間の企業とのマッチングや、耕作放棄地をもう一度よみがえらせる方法など、考えていきたい。

問 放棄地解消へ区画整理の選択は

答 1つの選択肢として可能である

問 地主さん達の意向がまとまれば、土地区画整理事業を選択し、実現性はあるか。

答 **【建設部長】** 都市計画マスタープランにおける位置づけが必要。

問 プランのまちづくりの方針に合致すれば、1つの選択肢として可能と考える。

問 区画整理事業区域内の建築物は立ち退かなくてもよいという、規制緩和の事実はあるか。

答 県内で、10戸以上の開発済み区域を除外した例はある。